

令和3年10月14日

第2回日本応用地質学会表彰の選考結果について

一般社団法人日本応用地質学会
会長 長田昌彦

標記について、「名誉会員選考および表彰規程」第9条に基づき、下記の通り決定しましたので、お知らせいたします。

記

1) 選考結果

8月2日開催の令和3年度第4回理事会において、以下の2件が日本応用地質学会表彰に決定いたしました。

・竹村公太郎（たけむらこうたろう）氏

受賞対象：自然災害・応用地形に関する執筆・講演を通じた一般市民の防災意識の啓発に対して

・阿蘇火山博物館（あそかざんはくぶつかん）

受賞対象：博物館の役割を通じた火山防災をはじめとした防災意識向上・環境保全などの普及・啓発活動の展開に対して

2) 選考理由について

・竹村公太郎氏

『日本史の謎は地形で解ける』、『地形から読み解く日本の歴史』、『地形と水脈で読み解く！新しい日本史』など、水害を主とした自然災害や応用地形学を題材にした書籍を数多く発表し、我が国における大規模水害や応用地形学的に見た国土計画に関し、一般市民へその重要性や面白さを伝えている。また、環境地質研究部会主催の埼玉市民フォーラムにおいて基調講演を行い、国土の防災を含めた土地利用が重要なことを伝えるなど、一般市民の防災意識向上にも大きく貢献した。これらの成果に対し、学会表彰を贈ります。

・阿蘇火山博物館

阿蘇山という活動的な火山における博物館の運営と、ジオパーク活動を通じた火山学の多面的な普及・啓発活動を長年行ってきた。また、防災教育支援推進事業「噴火の記憶

データベース」プロジェクトによる、地域の小学校を中心とした組織連携強化の体制づくりや、火山災害のみならず気象災害、地震災害にも見舞われる厳しい自然条件下における、科学的理解、防災意識向上、環境保全への取り組みを行っている。これらの成果に対し、学会表彰を贈ります。

3) 表彰方法について

・本来であれば、令和3年度研究発表会開催時に表彰式を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症への対応により、表彰は事前に実施するものとし、研究発表会では表彰の模様を映像で紹介いたします。記念品として、表彰状を刻印した盾を記念品として贈呈いたします。

以上